

# 豊後大野警察署協議会

## 第3回会議の開催状況

### 第1 開催月日

令和6年2月27日（火）

### 第2 出席者

協議会 委員 3名

警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、  
警備課長、総務係長 7名

### 第3 議事の概要

#### 1 業務説明等

警察署から

- ・業務重点推進状況及び諮問事項
- ・令和6年速度取締り指針

について説明がなされた。

#### 2 意見、質疑応答等

##### (1) 交通取締りについて

委員から「最近、市内で無謀な運転をする車が減少したように感じる。ただ、三重総合高校から市役所の間にある信号機のない横断歩道では、未だに歩行者がいるのに停車しない車が見受けられる。引き続き取締りをお願いしたい。」旨の意見がなされ、警察署から「横断歩行者妨害に対する取締まりを今後も継続的に実施する。」旨の説明がなされた。

##### (2) 子どもの見守り活動について

委員から「面前DVの被害児童について、管轄する駐在所員も把握しているか。」旨の質問がなされ、警察署から「署内で情報共有している。この種事案については、警察だけでなく、市の担当課とも連携を図り、被害児童に対する見守り活動を継続的に行っている。」旨の説明がなされた。

##### (3) 高齢者の万引きについて

委員から「高齢者による万引きが多いとの説明があったが、動機は何か。貧困が原因か。」旨の質問がなされ、警察署から「年金も受給しており、必ずしも貧困という訳ではない。ただし、将来のことを考えて、お金を少しでも残しておきたいという気持ちから万引きするケースが散見される。」旨の説明がなされた。

##### (4) 薬物犯罪について

委員から「大麻や覚醒剤は、豊後大野市内でも入手できるのか。検挙された者は若年層か。」旨の質問がなされ、警察署から「インターネットを悪用し、入手する者もいる。なお、当署で検挙した者は若年層ではない。」旨の説明がなされた。

更に、委員から「若年層で薬物が蔓延していると聞いたが、少子高齢化で子どもが少なくなっている昨今、貴重な人材である子ども達を市全体で見守っていく必要があると感じている。」旨の意見が寄せられた。

(5) 独居老人の対策について

委員から「独居老人の孤独死について説明があったが、これについては、警察だけでなく、市や県を含めて対応しなければならない課題だと思う。朝の旗立て等、何か良い方法を模索して、独居老人に対する見守り活動ができればと思っている。」旨の意見がなされ、警察署から「現在、市役所で、朝地地区の一部の独居老人に関する施策が検討されていると聞いている。警察も自治体と協力できることがあれば協力し、少しでも同居老人に対する見守り活動ができればと考えている。」旨の説明がなされた。

(6) 特殊詐欺被害防止対策について

委員から「先日、佐伯警察署が作成した特殊詐欺被害防止の啓発動画を視聴した。大変よくできており、今後もこのような啓発活動が必要だと感じた。」旨の意見がなされ、警察署から「当署でも『後藤劇団』の公演による啓発活動を行っている。今後は、従来の活動に加え、後藤劇団が出演する啓発動画を作成し、ケーブルテレビや県警YouTubeでの情報発信等も考えている。」旨の説明がなされた。

更に、会長から「県下で、特殊詐欺被害防止機能付の電話機補助事業が行われていると聞いたが、豊後大野市内でも実施されているか。」旨の質問がなされ、警察署から「豊後大野市でも補助事業を行っている。また、当署でも同種電話機の貸し出しを行っている。」旨の説明がなされた。

(7) 外国人労働者に対する教養について

委員から「外国人労働者に対する自転車利用の交通マナー等の教養を行っているか。」旨の質問がなされ、警察署から「外国人受入機関からの依頼を受け、外国人労働者に対する交通ルール等の教養を行っている。」旨の説明がなされた。

(8) 山岳遭難対策について

委員から「登山道の整備が出来ていないという説明があったが、県が条例制定を検討しているアドベンチャーツーリズム等により、今後、登山道の整備ができればと期待している。」旨の意見がなされた。